

浄化槽の設置状況等について(2019年度)



環境省は 2019 年度における浄化槽の設置状況、法定検査受験状況等について調査を行い、その結果を取りまとめました。

2019 年度における、浄化槽法第 7 条に基づく浄化槽の設置後等の水質検査(通称 7 条検査)の受検率は 94.4%であり、昨年比での増減はなく、ここ最近では 90%程度でほぼ横ばいに推移しています。

また、浄化槽法第 11 条に基づく定期検査(通称 11 条検査)の受検率は 43.8%(合併処理浄化槽のみでは 62.2%)と昨年比 0.7 ポイント増加(合併処理浄化槽のみでは 0.8 ポイント)と増加していますが、依然低い水準であるため、浄化槽の維持管理については、引き続き受験率向上に向けた取り組みが必要であるとしています。

なお、2019 年度末時点の浄化槽の設置基数は、全設置基数が 7,573,286 基(18,096 基増加)で、内訳は合併処理浄化槽が 3,822,158 基(76,645 基増加)、単独処理浄化槽が 3,751,128 基(58,549 基減少)であり、2019 年度において初めて合併処理浄化槽の基数が単独処理浄化槽の基数を上回る結果となりました。また、特に閉鎖性水域における富栄養化を防ぐため、窒素や磷等を除去する高度処理型浄化槽(窒素又は磷除去型、窒素及び磷除去型、BOD 除去型)の設置基数は 1,169,221 基(昨年度は 1,015,595 基)であり、合併処理浄化槽の総数の 30.6%(昨年度は 27.1%)を占めています。

2019 年に新たに設置された合併処理浄化槽の設置基数は 107,631 基で、その内、高度処理型浄化槽の新規設置基数は 84,522 基で、合併処理浄化槽の新規設置基数の 78.7%(2017 年度は 76.6%)を占めています。

当社では、浄化槽排水を含む多くの排水分析について長年の実績がございます。ご不明な点等ありましたら、是非一度ご相談ください。

資料 [2021年2月19日付 環境省報道発表資料](#)

環境検査箇所 赤石大輝